

復活節第5主日・(白)

主日礼拝

2025年5月18日 10時20分～

司式:

奏楽:

■■■ 調布教会は2026年度に創立80周年を迎えます! ■■■

「神への道」

『サムエル記下』では、サウル王と王子ヨナタンが、ペリシテ人との戦いによって戦死したことを、ダビデが知ります。そして王と王子の死を悼み、『弓』と題する哀歌を詠むのです。ダビデが王子ヨナタンの死を悼むのは理解できます。ヨナタンは常にダビデを愛し、味方になってくれていたからです。しかしサウル王は、忠実に仕えるダビデを妬み、殺害しようとして執拗に苦しめてきたのです。にもかかわらずダビデは、ヨナタンと共にサウルの戦死をも悼んでいるのです。なぜダビデはサウルを憎まず、愛し、敬い続けるのでしょうか。それはサウルが神からの油注ぎを受けた者であるからです。ダビデはその信仰によって、サウルを愛し続けたのでした。

『ヨハネによる福音書』では、十字架で死なれる前夜、晩餐の席で主イエスが弟子たちに決別説教をお語りになります。弟子たちは今後、もう主イエスを見ることができなくなります。そのことで弟子たちは心を騒がせることになるのです。しかし主は「神を信じ、また私を信じなさい」と言われます。神と主イエスを、どう信じたら良いのでしょうか。それはこういうことです。十字架で死なれることは、殺されたという悲惨な出来事に終わりません。このことは罪からの赦しと、滅びからの救いをもたらし、父なる神のもとに招かれるという素晴らしい恵みとなるのです。父なる神のもとに行くには、どの道を通れば良いのか? 「私は道であり、真理であり、命である」と主は言われます。主イエスこそが神へと至るための「道」なのです。主を信じる時、見えなくても主が共におられることがわかります。そして父なる神も共にいてくださるのです。

《神の招き》

前奏
招詞
賛美歌
『いと高きところに神にのみ栄光あれ』G.P. テレマン
エゼキエル書18章32節
74

《神の言葉》

祈禱
聖書
聖霊の照らしを求める祈り
サムエル記下1章17～27節 (旧約465頁)
ヨハネによる福音書14章1～11節 (新約192頁)

こども説教
交読詩編
詩編98編1～9節 (115頁)

賛美歌
説教
「神への道」 八木浩史牧師

祈禱
賛美歌
21-498

《感謝の応答》

信仰告白
献金
使徒信条
祈禱
主の祈り
(週報表紙、ホームページ掲載)

献金当番

《派遣》

頌栄
祝福
報告
後奏
546

礼拝当番: (役員:) 献金当番:
音響: 映像: